

常照寺 村ノ中央字北村ニアリ新義宗多磨部中野村寶仙寺末隆楚山正體院ト  
 其實ヲ知ルヘカラス寶徳元年四月トモ又ハ康正三年トモ明應六年四月トモイヘ  
 リ實徳日リ文龜二年アヲ五十年餘ナレハイッレヲ實トシテモ年代相違レハ又寺  
 傳ニ永正十七年二月寛永十六年四月再ハ八間四方東向ナリ本尊大日長二尺五寸木  
 ノ坐像ナリ正門ハ兩控作 ○觀音堂モ今常照寺ノ門ニ入テ左ニアリテトモト境内ノ  
 ニテ客殿ノ正面ニアリ ○觀音堂モ今常照寺ノ門ニ入テ左ニアリテトモト境内ノ  
 大音ノ堂地ナリコ、ニ移セシコトハ已ニ前ニ記セシ如シ堂ハ北向ニシテ ○長福寺  
 ト村ノ中央字前田耕地ニアリ天台宗多磨部深大寺村深大寺門徒ナリ星霜山園光院  
 木ノ坐開山開基ノ名及年代ヲ傳ヘス客殿四間見村慶元寺未無山壽經院ト號ス  
 像ナリ坐 ○龍安寺本尊ハ彌陀菩薩客殿ハ六間四方東向ナリ門兩控作ニシテ正面ニ  
 アリ開山空登文祿二年ノ起立ナリ又地蔵ノ像アリ毎月ノ末ニ至リテ一度此所ニ  
 カヘリ共餘ハ他所ヲ奉回リテ一夜ヲ限リテ所々有信ノ家ニ宿スヨリテ俗ニ一  
 呼夜ニ森ト鐘樓代永々付置之因茲知朝暮音聲者也於下右奉寄進意趣者爲佛恩報謝未  
 代也 無量山高郡稻毛領宿河原大干世尊百八院霜冥福惟祈家發彌揚登上人圓也  
 康亮 不朽無疆 于時元祿十三 三社相殿 門ニ入テ左ニアリ北向ニテ一間ニ  
 辰四月八日 無量山龍象寺 殿一間半秋葉稻荷天滿宮ノ三坐ヲ配ス  
 舊跡綱下ケ松 村ハ巽方岡上ニニ當テル古松樹ナリ岡下ノ田地此下綱以界域ヲ  
 ノノ城ニ向ヒテ樹手ノ寄手杉家ノ兵ノ松ニ綱テ下ケテ丘下ニ下リシニヘカク  
 名ツケシト其途ノ次籍ハコトヨリ日野

江戸府名所図會

長尾村ハ郡ノ西北ニアリ江戸日本橋ヨリ行程五里半東ハ上作延村ニ隣リ西ハ平村  
 ニ接シ南ハ土橋村ニ境ト北ハ宿河原村ニ及ヘリサレトコ、ノアタリハ他村ト犬牙  
 シタル地ナレハ定カニ分ツヘカラス東西凡十五町半南北ハ二十二町ニ餘レリ村  
 内大抵二區三分ノ南ノ方ヲ神木長尾ト云山丘多クシテ溪谷アリサレハ近キ頃土俗  
 改テ谷長尾トヨヘリ此邊地形高低アリテ早損ノ患アリ北ノ方ヲ河内長尾ト云河内  
 ハ多磨川ノ内ト云ル事ニヤコ、ハ山丘ノ根ニシテ平カナル地ナレハ用水ノ便リ  
 ハ宜ケント多磨川ノ水溢レハ水損ノ患アリ土性ハ眞土ニ砂交リ若クハ黒赤土野土  
 交レリ陸田多ク水田ハ少シ此村舊クヨリ開ケシト土人傳レトモシルシトセルコト  
 ハナシ元ハ長岡村ト唱ヘリ村民ノ内ニ今モ長岡ヲ氏トセルモノ殘レリ故ニ此名ヲ  
 眞シニヤ長尾景虎コ、ニ來リシコヘニ今ノ名ニ改メタリト云按ニ景虎當國ヘ來リ  
 シハ永祿三年ナリ且行軍ノ間トイヒ況ヤ經歷セシノミニアコ、ニ住ヒシト云ニモ  
 アラサレハ此説ノ牽強ナルコト論ニ及ハサルカシカノミナラス永祿二年改定ノ小  
 田原家人所領役帳ニ太田新六郎二十一貫文稻毛長尾村鈴木共ニ恒岡分トアリ又按  
 ニ太田新六郎知行ノ内長尾村百姓持ノ地ト鈴木某カ持ノ地ト通シテ二十一貫文ハ  
 恒岡カ給分ト云コトナルヘシモシ然ラハ鈴木ノ下分ノ一字ヲ脱セシナルヘシ今村

内ニ鈴木ヲ氏トセル舊家アリ然モ小田原北條氏ニ仕ヘシ由ヲ傳ヘリサレハカノ鈴木ト云ハコレナルヘキカ猶舊家ノ條ニ載タリ此頃ハ北條家人ノ領分ニテ村名ヲモ今ノ如ク唱ヘシコト知ヘシ御入國ノ後ハ村上左衛門カ采地ナリキ此家ヘ賜セシ年代ハ下ニ記セル上作延村ノ農民ノモタル日記ニ元和八年彼村及當村ノ内ヲ合セテ五百石ヲ賜ヒシ事ヲ載タリサフランニハコ、モ元和八年ニ賜ハリシコト知ヘシ正保年間ノモノニハ大河内普兵衛村上左衛門木造七左衛門知行ト載タリ此頃三氏入會ノ地ナリ村ノ傳ヘニハ元祿三年コレ等ノ人ハ所領ヲ外ヘ替賜ハリテ御料所トナレリト是モ上作延村ノ舊記ニハ元祿十一年上地トナレリトアリ何レヲ正シキトスヘキヤ再々所ヲ替フレンシモ又知ヘカラス檢地ハ元祿四年伊奈半十郎カ承リテ糶セリ此外新墾ノ陸田ハ其折々ニ檢地アリテ寛播磨守伊奈半左衛門等承ハレリ御料所トナリシ後ハ屢御代官ノ遷替アリテ今ハ小野田三郎右衛門ノ支配所ナリ

高札場小名大谷 下河原  
 小名柳町地積キナリ 兵庫谷長尾ノ内等覺院ノアタリヲ云名  
 村ノ東北ヲ云河 富士ヶ谷村ノ中央 十三本原云事ハ上作延村ニ出セリ  
 池田村ノ北宿河原 内長尾ノ内ナリ 内ノ北宿河原

雪ヶ坂村ノ西 ○狐坂東ノ方 ○大師穴谷長尾ニアリ内ニ石像ヲ立ツ長一尺許所々相傳フ竊ニ似タリ背ニ長尾村妙樂寺トアリ又延徳年中月待ノ斷碑アリ後ニ出セリ弘法大師ノ遺跡ナリナト云ヘリ大師穴ト唱ルハカハルニハノ覺字アルヘシ

道善 妙善  
 源海 彌藤次郎 延徳四年壬子

幸月待供養結衆

道仲 妙林  
 妙 ○ 彦四郎  
 十一月廿日

土橋二ヶ所共ニ二ヶ領用水ニ架セリ一ハ小名坂下ニアリ ○用水稻毛川崎二ヶ領奈川ノ分水ヲ宿河原村ヨリ引來レルアリ又小名壁ヶ坂邊ニ架セテ引○谷川内ノ谷長尾邊ノ村内池田地ヲアタリ沃キ環水ハ二ヶ領用水ニ合セリ ○谷川用水トナレリ ○堤河原村ノ接地ニナリ宿

五所權現社 河内長尾ノ南ニアリ村内ノ獄守ナリ此邊ヲ權現臺ト唱ヘリ祭神及勤今ハ僅ニ其カヲハタシテ存セリ射手二人介副二人ニテ桃ノ瓜竹ノ矢ヲ以テ行ヒシト云ハル土人ハハタシテ流鏑馬ト唱フ此九外九月十四日ニモ祭事ナセリ村内妙樂寺ツ持 ○赤城社 事アリ又九月十四日ニ神體木像長一尺許是モ村ノ鎮守ナリ正月七日祭橋樹郡

中九十月十四日ノ祭ヘ五所權現  
 社前妙樂寺ノ白山社何レモ僅ナル祠ニ並ヘリ以テ妙樂寺ノ四祠  
 富士谷ト○稻荷社小名大谷ニアリ此邊小水院持ト○富士瀧間社此邊ノ東ニアリ  
 妙覺寺河内長尾ノ南ニ谷深大寺ノ邊未開山開基臺ト云天台宗ノ長尾山  
 二尺許此人ノ事ハ舊家ノ條ニ出テモイヒシ者ノ木像アリ法體ニ坐セリ  
 寺ナリ長尾寺トイハルハ未タ何レノ寺院ト云テ求明寺ハ久長尾村ノ内領ニ弘明  
 アハルモ山ト號スル事ナリ國ノ内別ノ條ニイヘル長榮ハ今豊岡郡雜司ケ谷村法明寺  
 ノ住僧ト號スルトキハ古ノ寺ト號スル山號トモモルコト其例ナキニモアラス  
 法明寺ト號スルトキハ古ノ寺ト號スル山號トモモルコト其例ナキニモアラス  
 寺傳ハ云モカフナリトキハ今ノ語リ傳ヘニモモルコト其例ナキニモアラス  
 ハトナケレハコハ今ノ語リ傳ヘニモモルコト其例ナキニモアラス  
 ○等覺院谷長尾ノ乾ニテアリ天台宗深大寺ノ門徒ノ木像ナリ開山ノ基  
 千手堂村南ノ東ノ小名別所ニテアリ當村ノ水帳此邊ハ長所ナリ  
 文十六年丁未八月五日ノ碑記ナルモ古ノ碑ナリ傳ヘス  
 墳墓五ヶ塚小名神木谷ニアリ天正六年越州春日山ノ城ニ及從者ノ墳墓ナリ  
 所別ニユ一尺四五寸四方ニテ蓋高印ノ昔此字ヲ形リ其中コト眞輪ノ一丸アリ大

銀杏ノ如シ是ヲ振ヘハ中ニ物アリ音ヲナセリ何ニ用ヒシモノト云コトハ考  
 トイッテカカハ其モノヲ○道情塚北條氏ニ仕ヘ後法體シテ遺情ト稱セシコトハ  
 木郎兵衛ノ出セリ  
 舊跡陣屋蹟ハ此所ニ陣屋アリキ此邊ナリ大河内善兵衛村上左衛門カ采地又神  
 ハカク云ナルヘ邊ニ殿下唱ル所アリ陣屋味ノノモユリナレ  
 舊家者百姓久彌鈴木氏ナリ古ハ長岡氏ト先祖トイヘル頃トイヘル事始コト  
 長岡將監長岡八郎トイヘルヲ戰セリ其中ニ鈴木ト改メ後鈴木兵衛ト云テ十代ヲア  
 記セザルコトナレハ全武ヲハ漏セリ鈴木氏トイヘルコトハ尋ルニ長岡八郎トイヘル  
 ヲルコトハ鈴木氏ノ士鈴木村内小左衛門トイヘルモモ安太屋敷トイヘルコトハ  
 稻荷ノ小祠アル所ニ宅ヲ構ヘシキカカツテ修ミ遺下河原ノ移レリモトハ居宅ノ背ニ後  
 ノ天正十二年乙酉十一月廿日ト記シテアリ正始ニ家ナルコトハ長岡八郎トイヘルコトハ  
 密ニ補理シテ右衛門後昌阿彌ト改メシモノ北條氏ノ世々口碑ニ穴山梅ノ雪又行光ノ刀  
 ルノ太田ニ遠祖トイヘルヲ外ニ讀リタリト此邊ハ先祖ハ高橋トイヘルコトハ北條家  
 兵衛ハ高橋氏ナリ今ハ井田トイヘルコトハ先祖ハ高橋トイヘルコトハ北條家  
 月四日死セリ名ヲ金翁トイヘルコトハ道情トイヘルコトハ先祖ハ高橋トイヘルコトハ北條家  
 妙樂寺ノ安法名ヲ金翁トイヘルコトハ道情トイヘルコトハ先祖ハ高橋トイヘルコトハ北條家

ソノアモト其家人ニ井田ト云モノアリシニモ其氏ヲトシテルナリトシ井田ハモ  
ト金井田ト號セシカ後ニ金ノ字ヲ省キシハイカナルコト云コトヲ知ラス今井  
田ノカミシ文書及ヒ高橋ヘシハリシ  
モトノ總テ三通テ傳ヘリ其文左ニ載ス

被下置知行方

- 一 七貫文 九子之内手 作分同屋敷
- 一 一ヶ所 足立之内 嶋根之村 以上

右千葉為御老母為堪忍分丸子村此度渡置申ハ為替島根村遺候永代可致知行

者也仍如件

永祿七年  
甲子三月廿三日

遠山左衛門之

高橋為

- 七貫文 九子之内手 作分同屋敷
- 一 一ヶ所 足立之内 嶋根之村 以上

右去甲子如先御證文無相違可相拘旨被仰出者也仍如件

天正十五年丁亥九月廿日

山角總十郎之

高橋為

耶等以之くれみよ一不便候然共世上之あらいに間打て用等可走廻み仍  
為香錢と二拾疋遣み以上

五月廿九日

花押

井田為

○百姓六郎兵衛是モ井田氏ニテ末郎兵衛カ別家ナリ此餘ニモ井田ヲ氏トセルモ  
勤メシシ禮トスヘシ制札ノ文左ノコトシ  
秀吉ノ制札ヲ糺スルトキハ舊ク村役ナト云傳フ中ニモ六郎兵衛ハ今モ太閤

武藏國稻毛郡

作延郷  
平長土橋村

禁制

以上三ヶ所

- 一 軍勢甲乙人等濫妨狼籍事
- 一 放火事

一 對地下人百姓非分之儀申掛事

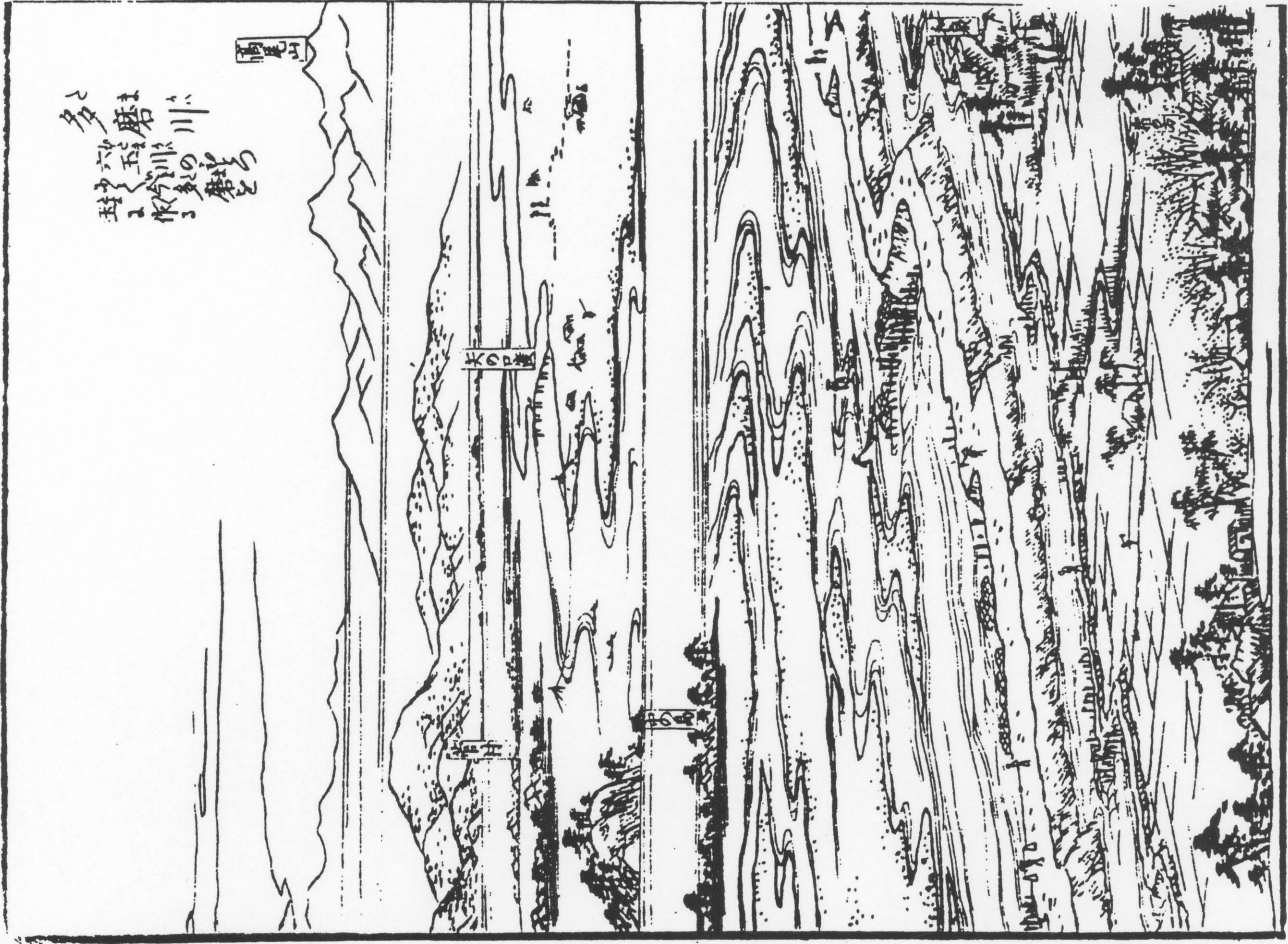
右條々堅令停止訖若於違犯之輩者忽可致處嚴料者也

天正十八年四月日印 本間秀吉ノ印ナリ

上作延村

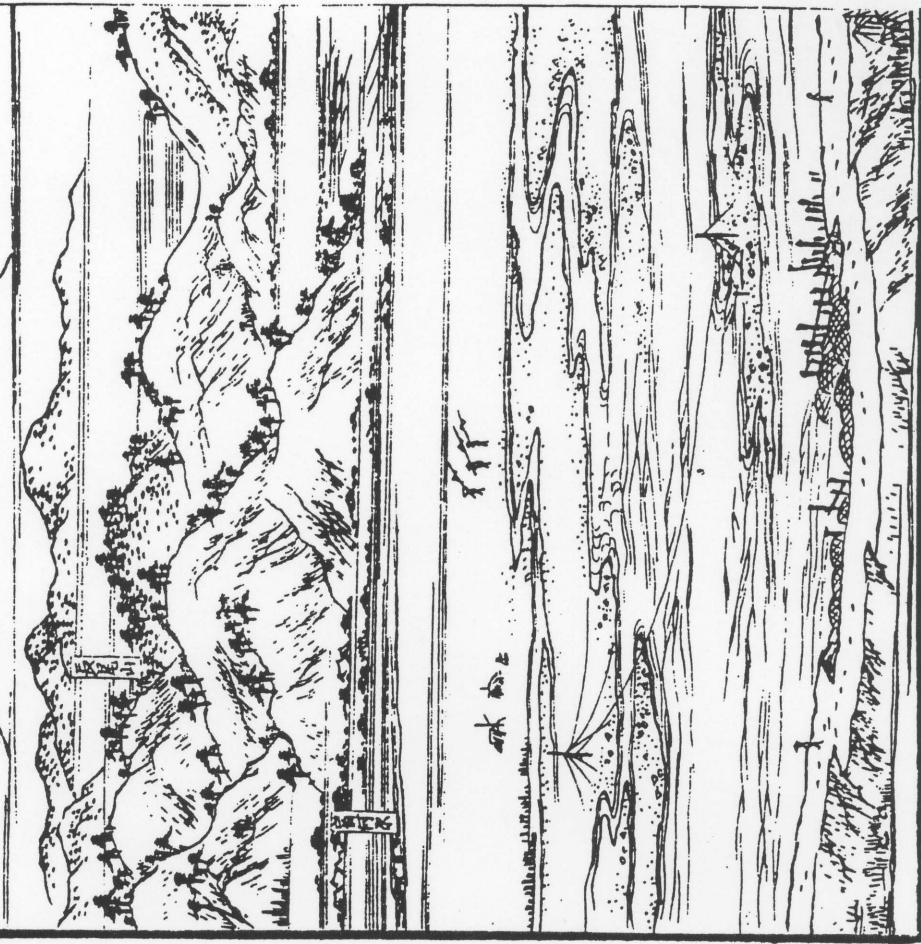
上作延村ハ郡ノ西北中原道ノ西ノ方ナリ郷庄ノ唱ハ失ヒタレト小田原家人所領役  
帳ニ小机作延七十貫文ノ地ヲ増田某領セシヨシヲ載タレバ古ハ小机ニモ録セシト  
見ユ増田某ハ下作延村百姓忠左衛門カ先祖ナリト云按ニカノ村圓福寺ノ傳ニヨレ  
ハ増田駿河守滿榮北條氏綱ノ時代ヨリ當所ヲ領セシト知ラレ此人永祿元年ニ没

橋樹郡



多磨川 六玉川のひとつにて、いま多磨を玉に作る。

水



水

玉川八砂場廣  
 一帯はあま多  
 雨後杯は渡り口  
 移轉して定  
 西は秩父  
 甲州の南  
 望み東六  
 堤塘の斜  
 思ふ船子  
 の産は常  
 漢人他を



その二 玉川は砂場広裕にしてその流れ一帯にあらず。多く雨後などには  
 渡り口移転して定まることなし。西北に秩父および甲州の諸山を望み、東  
 南は堤塘の斜めに連なるを見る。鮎をこの川の産とす。夏秋の間多し。ゆ  
 ゑに、つねに漁人絶えず。

七  
寺  
妙  
寺  
面  
花  
樂  
寺  
山  
花  
寺  
一



山  
花  
寺

妙樂寺 七面山